

SHIN CLUB 101

(株)ユニホー辰カンパニー 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



「称名寺本堂」 撮影：間瀬憲隆／スタジオ・ミュー

今月のトーク/monthly talk

公ということ

ある建築家が学生に向かって「良い公共建築とはどういうものか」という問いかけを行ないました。答は2つあるそうです。設計入札、施工入札を経て税金をなるべく使わずに安く済んだものなののでしょうか？それとも斬新なデザインのものなのでしょうか？

1つ目の答は、「その建物が建ったことによって、民間の資本が次々とその周辺に集まるもの」だそうです。つまり大勢の人がその建物に惹かれ、集まるようになることで、新たな動きが派生し、新しいものが生まれる魅力を持った建物だということです。

2つ目の答は、「その建物を作るに関わった人が、そのことを自慢するような建物」ということです。設計者はもちろん、施工者や管理をする人、そこで仕事をする人が、自分のものとして誇りに思う建物が良い公共建築だということです。

それはすべての建物に言えることだと思います。金沢 21 世紀美術館が建って、金沢の町を訪れる人々が増え、人の流れが変わったと言われます。かつて「霞ヶ関ビル」の建築に携わった人々は映画まで作りました。

写真の称名寺は春日部市武里駅から徒歩約 20 分の浄土宗のお寺です。このたび弊社で本堂の建て替え工事をさせていただきました。長年使われていた本堂の老朽化が進み、檀信徒の役員会で建替えを決定しました。建築は 5 年計画でしたが、建設委員会の方々の方力、なんと 2 年間で建築資金を集めることができました。皆で使う建物を皆で集めたお金で決めていく—ある意味公共性を持った建物は予算を消化するために、あるいは補助金を得るために建てたものの、建設後の責任の所在があいまいになりがちな公共建築よりも、よほど

地域に根ざしたものでしょう。

実際に、早く計画が進んだということが、自発的にものごとを進めることの力強さを裏付けています。「何年も前に計画したから」「やめてしまうと補助金がもらえなくなるから」という観点で、延々と事業を続けているような公共工事には、地域を再生する力も、新しい魅力で人を引き付けることもできないでしょう。行政改革が進まない大きな原因の一つが、事業をつかさどる立場の人々がそのような上からの指示のまま、漫然と考えることを拒否している体質にあることは、多くの方が指摘しています。

建物の完成を心待ちにしている人がいて、互いに喜び、そこを利用することを約束しているからこそ、建物に命が吹き込まれるといえるでしょう。

本来、お寺は地域の中心的存在でした。教育は、お経を写す行為から始まり、「寺子屋」という言葉が示すように、そこでは一般大衆に読み書きが教えられました。また病に悩む人々の心の拠所であり、災害のときには、大勢の避難先になっていたのです。

称名寺の帛溪（とらたに）文有住職は、保育園も運営なさっていて、教育熱心な方です。お寺がお葬式のときだけに利用されるのではなく、地域の檀信徒の皆様とともにいつもある、ということをお願いいたします。新しい「称名寺」は、ご住職の指導の下、お寺本来の持つ公共の建物としての機能を発揮するにちがいありません。

竣工後、落慶式という宗教儀式に出席する機会を得て、改めて建築の大切さを思い返すことができました。設計者、施工者だけでなく、僧侶や大勢の檀信徒の方々が集まり、唱えられるお経を聞きながら、古来、建築の完成とはこのようなものだったのだと、豊かな時間の流れを感じました。

称名寺本堂 新築工事



檀信徒の願いが込められた、機能的で堅牢な現代の本堂

老朽化した木造のお寺の本堂の建替え工事である。住職・檀信徒の要望により、建設委員会が設けられ、委員会の献身的な努力により、当初の計画よりも2年ばかり早く竣工することとなった。

「古来からある木造寺院とは違う寺を設計してほしい」「一般市民である檀信徒が集まりやすく、自慢ができて、かつ威厳も備えている。そんな現代に生きている老若男女が誇りに思える新しい『称名寺』という固有名詞の寺を考えてほしい」という住職の希望を理解し、どっしりとした重量感と開放感を併せ持つ建物をイメージした。RC造打ち放しで、鉄骨トラスで屋根を張り、木の下地に瓦葺とした。高さがあるため、向拝（仏堂の正面上部に張り出した庇の部分）を前面に出すことでバランスを取っている。寺社建築が本来持つ回廊性を生かし、1階の本堂の周囲をすりガラス状のシートで囲み、2階はその部分を外部にして開放感のある空間を創出している。

1階のエントランスを入ると、中央の大きな廊下が訪れる人を向かい入れ、正面には納骨堂が、左右に控え室として和室が3つ設けられている。向かって右側の奥は、既存の客殿と扉でつながっている。2階の本殿へは階段と、住職の希望により高齢者の多い檀信徒のために寺院には珍しく2基のエレベーターを設置し、極力バリアフリーを心がけている。上がりきると御影石の床の玄関、フローリングの外陣、そして2体の菩薩法然像を左右に従えた阿彌陀像のある内陣へと続く。内陣の裏側には控え室、厨房、手洗いなどがあり、左右の入口から入ることができる。

長年設計に携わっているが、施主、施工業者が我々設計事務所に対して大変理解があったことに、改めて感謝したい。

(中崎正人 / 岩倉建築設計事務所)



①西側全景。②本堂1階エントランス。右側手前はトイレへの入口③1階控え室。和室だがテーブルとイスも用意されている。④2階本殿を正面から臨む。⑤2階、本尊のある内陣。天蓋照明、対になった鐘楼と、金色の内装が、おごそかな中にも華やかさを持った雰囲気をかもしだす。

所在地：埼玉県春日部市
用途：寺社 構造：RC造 規模：地上2階
設計：岩倉建築設計事務所
施工担当：弘中武
竣工：2008年3月 撮影：間瀬憲隆 / スタジオ・ミュー

AMB 新木場ディスティビューションセンター 改修工事



流通再編の新しい波に対応する、グローバル企業の物流センター

AMB プロパティコーポレーションは、北米、ヨーロッパ、アジアを中心に世界14ヶ国、45都市に総延床面積約1,400万㎡の物流施設を保有する世界的企業である。AMB プロパティジャパンは、その日本支社として2003年に開設された。

今回、辰カンパニーでは、倉庫を借りるテナントの企業の要望にあわせた新たな事務所スペースの増設工事を行なった。

「空港、港湾機能の国際競争力回復のため、東京都ではいくつかの中長期計画がありますが、その中の一つ、臨海道路2期工事（新木場—若洲線）の平成22年度完成を視野に入れて、いち早くこのセンターを進出させました」と発注を担当したAMB デベロップメント部の佃直樹氏。「新築工事を施工したスーパーゼネコンの品質に劣らない、すばらしい工事で感謝しています」と語ってくれた。



所在地：江東区
用途：倉庫・事務所・店舗
構造：RC造
規模：地上4階
延床面積：37,815㎡
改修設計：久米設計
施工担当：宮島利夫
竣工：2008年4月

①建物全景。東京ヘリポートのすぐ近くにある②今回増設した、3階事務所スペース。2階にも同様のスペースが入っている③事務所スペースを外側の倉庫スペースから見たところ。倉庫内に新たにコンクリートとALCの壁を設けて増設した④反対側の南トラックバース。階高は7m、倉庫有効天井高は5.5mあるが、敷地に余裕があるアメリカなどでは、平屋で、より天井が高い建物が一般的だ⑤建物北側の角地に立つ看板。開発条件である提供公園をつくったため、周囲にも植栽をに加えて屋上緑化も施し、法的な与件をクリアしたとのことである



人々の心の暖かさに満ちた落慶法要

平成 20 年 6 月 28 日、「称名寺」の落慶法要が行われました。「落慶」とは、寺社などの新築、また修理の完成を祝うことです。施工会社としてもめったにない機会を頂戴いたしましたので、紙面を通じて式の様子をご紹介します。

ご住職の帛溪文有様



撮影：アック東京



①

午前 11 時の開始時間に先立ち、山門の外に式衆・檀信徒の皆様と工事関係者が集合しました。先頭の山伏が吹くほらの音を合図に、まず「お練（ねり）」（一定の距離をおきながら関係者が行列して歩くお披露目）が始まりました。（写真①）



②

山伏は真言宗の高橋英心氏です。式衆・楽師・侍者などは、浄土宗である称名寺と関係の深いお寺のご住職たちがそれぞれ務めます。（写真②）



③

周囲を関係者が見守る中、お練が本堂の前に到着すると、本堂の開扉式（かいひしき）に入りました。初めて本堂の扉を開き、お堂に入る儀式です。山伏のお祓い、ご住職の帛溪（とらたに）文有様のお念仏が響き渡ります。（写真③）

読経が終わり、出席者全員が堂内に移りました。



④

ご高齢の方々にも優しいバリアフリー設計なので、階段とエレベーターで本堂内への移動はスムーズに行なわれました。着席後は皆様、華やかなご本尊にうっとりとお見入っておられました。（写真④）



⑤

続いて、正面奥から現れた一人の僧侶が内陣を巡り、「道場洒水（どうじょうしゃすい）：四方の神を呼び込む儀式」を行い、同じように女性の僧侶が「道場散華（どうじょうさんか）：内陣に華を撒く儀式」を執り行いました。「唄司（しょうし）」が歌われて、司会の方が「開会の辞」を読み上げ、大きな鐘、そして笙の音とともに、いよいよ 維那・式衆・導師（ご住職）が入場されました。

無言参拝の後、ご住職を中央に「四奉請（散華）」（写真⑤）が唱えられ、表白に続いて、開経偈、歎仏頌、撰益文など、お経が太鼓とともに唱えられました。念仏を最後に一同で唱和し、法要は終了しました。

ご住職の挨拶

「月日のたつのは、早いものです。建設が決まり、委員会は 30 数回も協議を重ねてまいりました。いろいろな意見も次第に話がまとまり、わずか 2 年で資金の目標額を達成したことは驚くべきことです。設計の岩倉事務所は金沢の事務所ですが、担当の中崎氏は大変熱心に打ち合わせにおいでくださり、片道 4 時間の道りを数十回も通ってくれました。今年になり建築環境はさらに厳しく、この時期でなければできなかつたと思われる。檀信徒の皆様のおかげで称名寺がこうに立派になって本当によい落慶式となりました。忘れもしないのは、昨年夏。8 月の暑いある日、一人のおばあちゃんが、山門から足を引きずりながら、わざわざ献金に来てくださったことです。ご先祖様もさぞ喜ばれていることでしょう。これからも称名寺を地域の皆様の心のよりどころとしていただきたいと思います」



⑥

その後建設委員会顧問の志村武治様から、建設の経過報告が行なわれました。「平成 14 年に老朽化した本堂の建替えを檀信徒役員会で決定後、建設委員会を発足させ、5 ヶ年計画で 22 年竣工を目指し、資金調達を開始しました。平成 18 年には資金のめどが立ち、当初お願いしていた設計事務所から岩倉設計に設計を変更、施工は 5 社の中から多数決にて辰に決定、平成 19 年の 7 月に地鎮祭、20 年 6 月に工事を完了して本日の落慶式となりました」

次に浄土宗埼玉教区長浄国寺住職、春日部市長、春日部市議会議長の祝辞の後、



⑦

建設委員会、設計者、施工者への感謝状授与（写真⑥）が行なわれました。

そして檀信徒総代の上原光孝様の謝辞の後、最後のご住職のご挨拶は心温まるものでした。（写真⑧）



⑧

さらにご住職が幼少の頃からご縁のある、千葉のたんぼぼ児童合唱団がお祝い駆けつけ、お年寄りにも昔なつかしい歌を次々と披露し、式典に花を添えていました。（写真⑦）最後に出席者全員による集合写真を本堂前で撮影、懇親会へと会場を移しました。

メンテ魂

その後、
お住まいはいかがですか

第9回 駒沢の家 H邸

所在地：世田谷区
用途：専用住宅
構造：RC造
規模：地上2階 地下1階
設計：(株)辰 一級建築士事務所
竣工：2002年9月



今月は、築6年になる、RC造打ち放しの住宅をお尋ねしました。竣工時、設計に際しては、「窓をできるだけ小さくし、セキュリティに配慮した建物」というご要望を生かし、テラスや2階の壁面にあけられた丸窓、地下1階から2階まで吹き抜けの階段室、また吸放湿性のある内装材を使用して、内部の通風や採光を確保しています。今回は断熱のために敷いた屋上緑化のヤシ殻マットが、年月を経て風化し、飛散するため、対処したいというご相談をいただき、全体的に点検することになりました。第一建築部部長窪田と主任の中村と伺い、H様と奥様に話を聞きました。

一当初、H様は屋上緑化を楽しむというタイミングではなかったため、ヤシ殻マットには植物を植えませんでした。ただ断熱効果はあるだろうということでそのまま置いてみました。実際の効果はいかがでしたか。
奥様：それは、とても効果がありましたね。夏は特に涼しいです。今回きちんと緑化をするか、あるいは最近の温暖化対策も含めて、ソーラーシステムを置くことも選択肢としてあるかもしれないと思ったのですが…。
窪田：以前導入されていた、住宅用太陽光発電システムに対する国の助成制度は2005年度に打ち切られていましたが、あと2、3年で再開されそうです。今は、ちょっと待って様子を見た方がいいでしょう。
一先日発表された、政府の地球温暖化総合対策でも、「2020年までに新築持ち家住宅の7割以上が太陽光発電を採用しなければならない」という数値目標が掲げられ、価格も下がってきそうですね。
H様：屋上の排水ドレインがヤシ殻マットに埋もれているので、目詰まりを起こすのではないかと心配です。
窪田：ドレイン周りの土留めを検討しましょう。まだ残っているマットを排除するのも大変ですし、緑化のマットを追加して耐根シートなど敷き直し、芝生くらい植えられるように灌水装置の設定を検討してはどうでしょうか。
H様：そうですね。
奥様：ゴルフのバターの練習くらいだったらできそうですか？今のはしごでの昇降は怖いので、私はぜんぜん上には上がらないんです。
窪田：西側壁面に沿って、テラスから屋上への階段を設置して、庇の上の手すりを設けてみましょう。
奥様：それからキッチン裏のバルコニーで洗濯物を干していますが、屋根を設置してほしいのです。

中村：エクステリアの屋根をいくつか検討しましょう。
奥様：ダイニングの換気扇の給気機能が十分発揮されていないのではないのでしょうか。焼肉などでは煙たくなるときがあります。一下方に設置した窓を開けるという話になっていませんか。
H様：開ければ問題はないのだけど、冬は寒いでしょう。
窪田：現状を見て、だめなようなら給気の換気扇を大型のものに変えてみましょう。
H様：地下1階の書斎と倉庫がカビくさいのですが。
中村：現在換気扇を1箇所設置し、ほかに予備のスリーブが2箇所あります。それから除湿用にクーラー1台を稼働しています。一2つのスリーブをふさいだのは、外の音がうるさいためでしたね。
中村：別の現場で、排気と除湿機能を持つ換気扇を取り付け、効果があったので、今回も採用してみませんか。
窪田：倉庫などは小さな扇風機を廻すだけでも結構効果があります。
H様：それから、1階の寝室のジャロジー窓の開閉がうまくいかない。玄関ドアの丁番から異音がるのも気になります。
中村：業者に原因を確認させましょう。
H様：この南に出ている寝室部分や玄関ドアが西日が当たってすごく熱くなるのです。
窪田：熱もスチールドアに影響をあたえているのかもしれませんが。西側壁面の残った部分にもガルスパン素地仕上げ材を施工してはどうでしょうか。
一さらに検討事項がありました。それぞれ業者が内容を確認し、見積もりを作成することになりました。



①屋上。ヤシ殻マットは(株)クレアテラのガーデンマット。風化しているが、湿り気があるだけで断熱効果は抜群とのこと。②ドレインは蓋があるため詰まっていなかったが、耐根シート、灌水装置などの兼ね合いで土留めを作る③キッチン裏側のバルコニー④2階ダイニング。左壁上部が給気用換気扇。下の窓を開ければ煙は問題ない。台所のレンジはよく機能している⑤西側壁面。日が良く当たるので、この部分に断熱を施したい。隣家の影になっている部分には、すでにガルスパンが貼ってある。

TOPICS/INFORMATION

「(仮称) 田園調布の家 A邸 新築工事 地鎮祭」7月16日



田園調布の駅前の閑静な住宅街に建つ、レンガタイル貼りの建物です。

構造：RC造
規模：地上2階 地下1階
用途：専用住宅
設計：鈴木基紀/空間設計社
完成予定：2009年3月

『新建築 2008.8月号』集合住宅特集 に弊社施工4物件が掲載されました。

今月号の新建築に以下の物件が紹介されています。ぜひ、ご覧ください。

- Klarheit 設計：北山恒+architecture WORKSHOP
- Glasfall 設計：北山恒+architecture WORKSHOP
- Consolare 設計：長田直之/ICU
- RIDGE 設計：千葉学建築計画事務所

編集後記

・いよいよ北京オリンピックが始まります。「水立方」の愛称で知られる、水泳競技の行なわれるNational Aquatics Center 「Water Cube」は、オーストラリアのPTW Architects、イギリスのArup、中建国際設計会社の設計によるものです。構造物、その美しさにも人気が集まっています。

(株)ユニホー辰カンパニー通信 Vol.101 発行日 2008年8月8日 編集人：松村典子 発行人：森村和男